

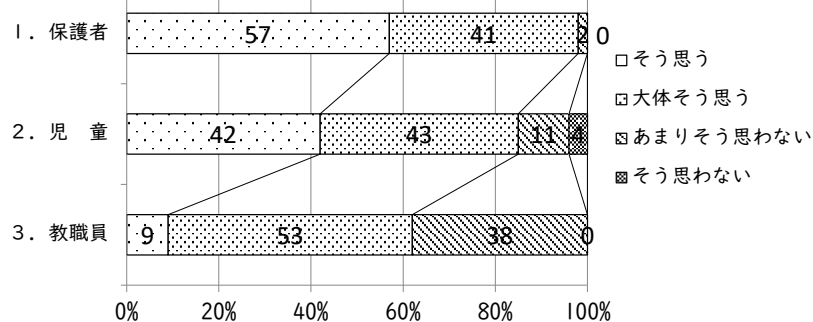


令和4年度 伏見南浜小学校
第1回学校評価
アンケート結果と考察
～生活面・自由記述～

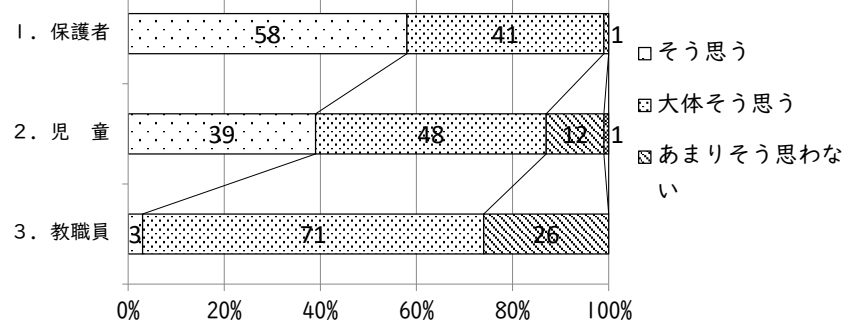
第1回 学校評価アンケート結果について

7月に行った学校評価アンケートでは、380件を超える保護者の方からの回答をいただき、ありがとうございました。
さて、本年度の第1回目の学校評価アンケートは、①～⑪の内容項目は、昨年度12月に行ったアンケートと同じ内容でアンケートを実施しました。昨年の結果と変化した箇所と保護者・児童・教職員の3者で捉え方に差があった箇所が見られました。また、自由記述欄では、「豊かに表現するため、表現力を高めるためにはどんなことが大切だと思いますか。」について、保護者・教職員へご意見を伺いました。

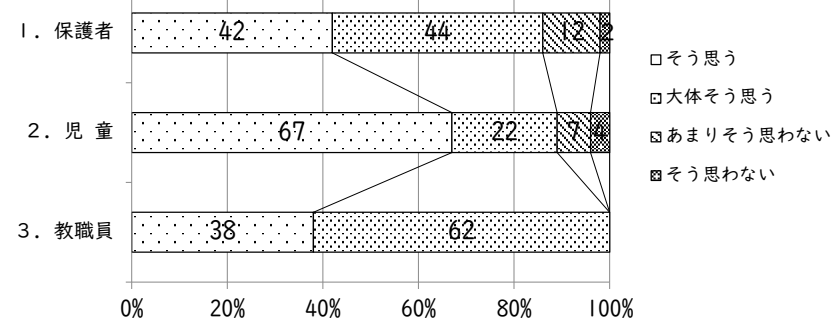
- ① 1. 我が家では、進んで挨拶するように声かけをしている。
2. じぶんからすすんで、あいさつをしている。
3. 子どもが自分から進んであいさつできていると思う。



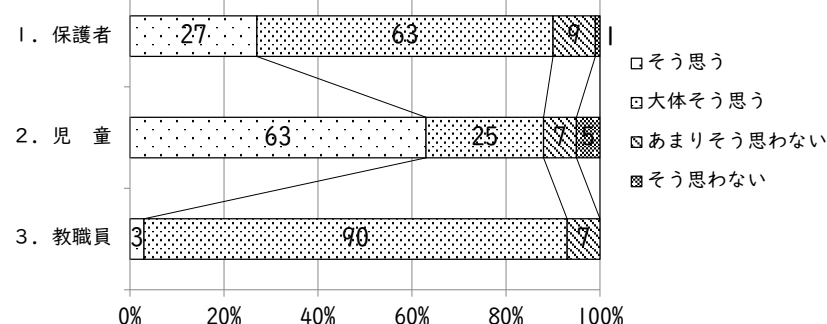
- ② 1. 我が家では、子どもに、自分の気持ちを言葉で伝えるように促している。
2. じぶんのきもちをあいてにわかるように、ことばでつたえることができている。
3. 子どもが自分の気持ちや考えを言葉などで表現できていると思う。



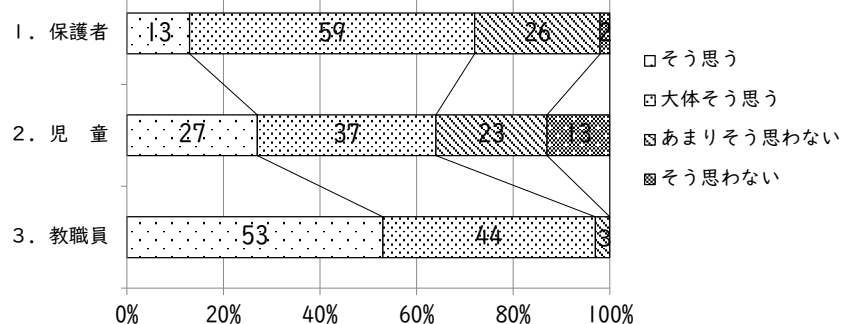
- ③ 1. 我が家では、子どものよさを認め、ほめる努力をしている。
2. おうちでは、がんばったことをほめてもらえる。
3. 子どものよさを認め、ほめている。



- ④ 1. 我が家では、子どもの交友関係を把握している。
2. おうちでは、ともだちのことをよくはなしている。
3. 子どもの交友関係を把握している。



- ⑤ 1. 我が家では、丁寧な言葉で子どもと会話をしている。
2. おうちでは、ていねいなことばでおはなしをしている。
3. 丁寧な言葉で子どもや保護者と話している。



自由記述欄

たくさんのご意見をいただきました。多数順に10個の意見を示したいと思います。
「豊かに表現するため、表現力を高めるためにはどんなことが大切だと思いますか。」

- 様々な体験や経験
自然にふれること ... 55件
 - 安心して表現できる環境
人間関係・聞く態度 ... 48件
 - 読書・音楽・芸術にふれること ... 32件
 - 人との会話・家族団らん
コミュニケーション ... 29件
 - 表現する場の設定 ... 28件
 - 自分の考えをもつこと
考える力・想像力 ... 20件
 - 自由・意欲・興味の
のびのびすること ... 18件
 - やってみる
繰り返しの練習 ... 17件
 - 自己肯定感・自信 ... 12件
 - モデルを示す
よりよい大人の姿 ... 9件
- そのほかにも多数ご意見いただきました。感謝申し上げます。
保護者の方々の思いをしっかりと受け止め、教職員一同、今後の学校教育活動に生かしていきたいです。

1. 生活面

- ①「あいさつ」は、本校が掲げている『伏見南浜小学校のみんなで大切にしたい4つの【あ】「あいさつ」「あさごはん」「あんぜん」「ありがとう」』の一つです。昨年度の数値と比べると、保護者の「そう思う・大体そう思う」が2%増加しているのに対し、児童の「そう思う・大体そう思う」が4%、教職員が11%の減少し、保護者・児童・教職員3者の「あいさつ」についての捉え方に差が見られました。教職員の数値が減少したのは、「伏見南浜の子どもたちにもっと素敵な【あいさつ】ができるようになってほしい。」という教職員の期待の表れではないかと思っています。今年度、本校が子どもたちにつけたい資質・能力は、「読解力」「つながる力」「表現力」です。「あいさつ」はこの「つながる力」「表現力」の土台となるものと考えています。コロナ禍の中、マスクや声の大きさなど難しいこともありますが、いつでも、どこでも、だれにでも、笑顔で元気に「あいさつ」ができるよう、今後も引き続きご家庭と協力しながら進めていきたいと思っています。
- ②「気持ちを伝える」については、①と同じような回答になっており、3者の捉え方について差が見られます。「そう思う・だいたいそう思う」でみると保護者が99%、児童が87%、教職員は74%となっています。教職員の数値が低いのは、①の項目と同様に、全ての児童によりよく表現できる力をつけたいという教職員の思いの表れではないかと思っています。本校の目指す資質・能力の1つである「表現力」を高められるように、保護者の皆様からいただいたご意見も参考に取り組んでいきたいと思っています。
- ③「子どもたちのよさを認め、褒める」ことについては、「そう思う・だいたいそう思う」に注目すると、保護者が約9%減少しましたが、児童には変化がありません。教職員については、「そう思う・だいたいそう思う」が100%となり、前向きに子どもたちをほめようとしていることが分かります。しかし、「そう思う」だけでみると昨年より14%減少しています。2学期からは、「そう思う」と言い切れるように、ほめることをより意識して、引き続き子どもたちの良さを見つけ、一人一人の子どもたちを大切に見守り、支援する教育を目指していきたいと思っています。
- ④「子どもの交友関係」について、「そう思う・大体そう思う」では、保護者が90%、児童が88%となっており、多くのご家庭で友だちのことについて話題にしているという結果が見られました。また、教職員については、「そう思う・大体そう思う」が93%となっており、交友関係の把握に努めています。今後とも学校での様子をはじめとして「子どもたちの話を聴く」家庭での環境づくりにご協力よろしくお願いします。
- ⑤「言葉づかい」に関しての質問については、約3%の教職員が「あまりそう思わない」と回答しています。まずは大人から丁寧な言葉を示し、子どもたちのお手本となるよう、また、保護者との信頼関係が築けるよう心がけていきたいと思っています。